

# 平成25年第7回庄原市議会定例会

## 一般質問通告者 及び 質問事項

9月17日～9月19日

### 質問順位

- |     |      |     |       |
|-----|------|-----|-------|
| 1.  | 門脇俊照 | 2.  | 近藤久子  |
| 3.  | 横路政之 | 4.  | 林高明   |
| 5.  | 福山権二 | 6.  | 吉方美   |
| 7.  | 谷口隆明 | 8.  | 松浦昇   |
| 9.  | 五島誠  | 10. | 堀井秀昭  |
| 11. | 政野太  | 12. | 宇江田豊彦 |
| 13. | 垣内秀孝 |     |       |

庄原市議会

# 平成25年9月定例会 一般質問

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	門脇俊照	市長提唱の「いちばんづくり」について	1
		いちばんづくりの3本柱について	1
		定住対策について	2
2	近藤久子	おたがいさまネット普及への取り組みについて	3
		庄原市健康づくり計画について	4
		東城自治振興センター・文化ホール・図書館について	5
3	横路政之	帝釈峡の観光振興について	6
		限界集落対策について	7
		健康マイレージの取り組みについて	7
4	林 高正	庄原市街地活性化計画について	8
5	福山権二	情報公開について	9
		木質バイオマス利活用プラント整備事業について	9
		指定管理者制度について	10
		自衛隊機の低空飛行について	10
6	吉方明美	放課後児童クラブの指導員確保と身分保障について	11
		下水道料金の公平な徴収について	12
		温室効果ガス削減に向けての取り組みについて	13
7	谷口隆明	市民生活を守る防波堤に	14
		バイオマスタウン構想の総括と新しい戦略を	15
		庄原市の民営化の到達と課題は	16

順位	質問議員	質問項目	ページ
8	松浦 昇	障害をもっている人も人権が尊重され安心して暮らせる地域づくりについて	17
		辺地のバス路線の確保と生活実態に合った運行ダイヤの見直しで安心して暮らせる地域づくりを	19
9	五島 誠	保育所の指定管理について	20
		子育ての負担感軽減について	20
		マイナンバー制度について	21
		庄原いちばんの具体的施策について	21
10	堀井秀昭	木質バイオマス利活用プラント整備事業の方向性について	22
		林業振興について	22
11	政野 太	庄原市の観光振興について	23
		庄原市まちづくりプランナー・モニター事業（まちづくりプラモニ）について	24
12	宇江田豊彦	今後の定員適正化計画について	25
		市職員の賃金カットについて	25
		不登校児童・生徒の取り組みについて	26
		はだしのゲンの閲覧制限について	27
13	垣内秀孝	市長の所信表明における行政経営改革の取り組みについて	28

#### 一般質問日程

9月 17日（火）門脇俊照・近藤久子・横路政之・林 高正・福山権二

9月 18日（水）吉方明美・谷口隆明・松浦 昇・五島 誠

9月 19日（木）堀井秀昭・政野 太・宇江田豊彦・垣内秀孝

順位	1	質問者	門脇 俊照
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 市長提唱の「いちばんづくり」について	<p>市長が指示を出されるときは、「主たる目標と達成日時」を明確に示されたほうが職員は動きやすく、私たち議員も協力できる。</p> <p>(1) いちばんが一番ではない理由を伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) いちばんを数値ではない「達成感」や「満足感」とすることで、市民は判断、実感できるのか伺う。</p>		市長
2. いちばんづくりの3本柱について	<p>就任され半年、実務につき、これまで見えていなかったものが見えてきた時期だと思ふ。いちばんづくりの3本柱について伺う。</p> <p>(1) 現時点で、「地域産業」の最優先すべきものは何か伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) 現時点で、「暮らしの安心」の最優先すべきものは何か伺う。</p> <p>-----</p> <p>(3) 現時点で、「にぎわいと活力」の最優先すべきものは何か伺う。</p>		市長

順位	1	質問者	門脇 俊照
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 定住対策について	<p>定住対策は、ホームページやガイドブックなどが充実してきたことで、分かりやすくなったことを高く評価したい。</p> <p>しかし、定住希望者が全国の自治体の中から本市を選択するには、さらなる工夫が欲しい。私なりの提案をする中で伺う。</p> <p>(1) 本市には原発が無い。米軍の基地が無い。これまでに大地震は無い。津波の心配も無い。多くの死者が出るような台風も無い。米づくりも比較的楽にできる。四季の移ろいは日本一。</p> <p>こんな庄原市を大々的にPRしてはどうか伺う。</p> <hr/> <p>(2) 東日本大震災、大津波の死者行方不明者約2万人、福島原発の崩壊は記憶に新しいところである。さらに、政府は30年以内の東海地震の発生確率は88%、西日本全域に及ぶ超広域震災「東南海・南海地震」も70%と発表し、防災対策が急がれている。</p> <p>そこで、以前にも提案したことがある「災害・疎開保険」(仮称)を真剣に考えてみてはどうか。</p> <p>既に、鳥取県智頭町では疎開保険を実施されている。このような災害・疎開保険を真剣に考え、実施できないか伺う。</p>		市長

順位	2	質問者	近藤 久子
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. おたがいさま ネット普及へ の取り組みに ついて	<p>厚生労働省は、国の安心生活創造モデル事業を平成 21 年度～平成 23 年度にわたり、全国の 58 市区町村を指定しており、中国・四国ブロックの広島県内では安芸高田市と庄原市であった。その後 2 年間の延長により、平成 25 年度までの事業とされている。実施主体は市であり、庄原市社会福祉協議会が事業着手から初期段階までのコーディネーター役を担うことになっている。</p> <p>このモデル事業の 3 原則を踏まえ、以下 4 点について伺う。</p> <p>(1) 敷信・北・口和地域からスタートし、現在 12 自治振興区で取り組まれているが、未実施の地域への確実な広がりが重要である。今後の取り組み体制について伺う。</p> <p>(2) 基盤支援を必要とする人が、もれなくカバーされる体制を構築することは画期的であるが、個人情報扱いに関する課題について伺う。</p> <p>(3) 事業を支える安定的な地域の自主財源確保に取り組むための課題について伺う。</p> <p>(4) この事業は、地域での運営実施が前提であり、孤立化の解消をはじめ、地域のつながりや福祉力のアップに資する。国の制度終了後の市の取り組みについて伺う。</p>		市長

順位	2	質問者	近藤 久子
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 庄原市健康づくり計画について	<p>平成19年度に策定された計画の取り組みを評価・検証するとともに課題を整理し、目標達成に向けた施策の見直しを行い、平成24年度～平成28年度までの第2次計画が策定されている。</p> <p>第4章行動計画には、目標を達成するために果たすべき取り組みについて、問題解決の意志を持って具体的に抽出・選択された領域別課題の一覧がある。その中から以下5点の進捗状況について伺う。</p> <p>(1) 食育の視点を取り入れた地産地消の推進について伺う。</p> <p>(2) 子どものときからの一貫した歯科保健指導の推進について伺う。</p> <p>(3) 自治振興区とタイアップした健康づくりの推進について伺う。</p> <p>(4) 自殺・うつ予防の推進（啓発活動及びゲートキーパーの養成）について伺う。</p> <p>(5) こころの健康に関する講座が、全て旧庄原市内である。今後の参加者募集のあり方と開催会場について伺う。</p>		市長

順位	2	質問者	近藤 久子
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 東城自治振興センター・文化ホール・図書館について	<p>本年春に、東城地域の複合拠点施設が完成した。7月末の自治振興センター利用者は6,683人、文化ホールは2,378人。90団体が利用し、いかに待ち望まれた施設であったかを示している。</p> <p>しかし、管理者の責任と利用者の利便性や、文化ホールに設置された優れた機材を生かすことについて喫緊の課題も生じている。以下4点について伺う。</p> <p>(1) 現在は、自治振興センターと文化ホール部分の管理は東城自治振興区、図書館は市の直営となっている。防犯対策の面からも、将来的に一体的な施設管理とすることについて伺う。</p> <p>(2) 文化ホールにおける照明・音響の機材は性能が高く、運用に高度な技術を要する。非常勤の専門技術者を配置することが必要ではないか。</p> <p>(3) 図書館の書籍の充実を望む声が多い。今後の対応について伺う。</p> <p>(4) 図書の貸し出しについて、現在は庄原市の住民及び市内に勤務している方に限られている。市外の方であっても、身元確認さえできれば貸し出しが可能なシステムにすべきではないか。</p>		市長 教育長



順位	3	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 帝釈峡の観光 振興について	<p>本市の観光名所である帝釈峡は、現在まで、十数年にわたる遊歩道の閉鎖で観光客の減少が続いてきた。地元の観光協会もいろいろ模索し、努力されたが減少に歯止めがかからない状況が続いている。観光協会の要望もあり、平成23年3月、湯崎県知事に遊歩道開通に向けての要望活動を、庄原市、神石高原町合同で行った。その後、広島県中山間地域観光振興等支援補助金を活用し、庄原市、神石高原町合同協議会のもと観光振興が行われている。</p> <p>その後の進捗状況はどうなっているのか。ハード面の整備にむけて再度要望活動を行い、帝釈峡の魅力を取り戻すため、庄原市、神石高原町の思いを県知事に届けるべきだと思うが、市長の考えを伺う。</p>		市長	

順位	3	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2. 限界集落対策 について	<p>本市が抱える深刻な課題の一つに「過疎化の進行」が挙げられる。合併後約 4,000 人の人口減少に伴い、集落の高齢化も進んでいる。限界集落も市全体の 25%と深刻な状況になっている。今後も集落の高齢化は進み、それに伴い限界集落も増加すると考えられるが、限界集落に対する考えを伺う。</p> <p>全国では、限界集落の住民を一箇所に集住化し、コミュニケーションの増加、協同する機会の増加など成果を上げている地域もある。本市もこのような取り組みを考える時期に来ていると考えるが、市長の考えを伺う。</p>		市長	
3. 健康マイレージの 取り組み について	<p>健康診断の受診やスポーツ活動への参加などでポイントをためると、特典を利用することができる「健康マイレージ」の取り組みが注目されている。</p> <p>市民の検診受診率を上げ、健康づくりに励むことで医療費や介護費の抑制につながるほか、地域コミュニティーや地域経済など、まちづくりや人づくりにつなげていくことが期待できる。本市も検診率は低いままで推移している。検診率のアップを図るためにも「健康マイレージ」を実施してみてもと考えるが、市長の考えを伺う。</p>		市長	

順位	4	質問者	林 高正
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原市街地活性化計画について	<p>これまでの本市の活性化策は、小手先のものであったと言わざるを得ない。楽笑座、三軒茶屋、交流サロンラッキー、まちなか広場、ポケットパーク、市役所など、これらは全て旧庄原市商店街と言われる一帯につくられている。この財産をどう活かしていくかについて、次の提案をしたい。</p> <p>現在の旧庄原市内で最も人が回遊しているところは、庄原赤十字病院、庄原ショッピングセンタージョイフルながえ一帯である。その一帯と市役所一帯を結合してはどうか。</p> <p>具体例としては、市役所前通りから紅梅通りを経て、文芸の小路から庄原グランドホテル周辺を結ぶラインを整備する。そして、庄原赤十字病院⇄庄原グランドホテル（倉田百三広場）⇄ジョイフル（川沿い歩道）⇄児童公園⇄田園文化センターを結ぶ散歩コースの整備により、「まちなか回遊コース」が誕生する。遊歩道の周辺にガーデニングをして、花いっぱいの美化運動を推進することも併せて提案する。その他具体的提案は、有志で作成した整備企画書（案）に沿って行いたい。</p> <p>活性化のキーワードは、「人の姿」である。行き交う人があって初めての活性化ではないか。建設的な答弁を期待する。</p>		市長

順位	5	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 情報公開について	<p>(1) 市政の情報公開に対する市長の基本認識を伺う。</p> <p>(2) 指定管理者の指定手続等に関する条例により、指定管理者を選定する際は、指定管理者候補者選定審査会設置要綱に基づく選定審査会で審査されているが、この選定審査会の会議記録は存在するのか伺う。</p> <p>(3) 選定審査会は要綱第4条で非公開としているが、その根拠と情報公開との整合性について伺う。</p>		市長
2. 木質バイオマス利活用プラント整備事業について	<p>(1) 木質バイオマス利活用プラント整備事業の事務作業の実施経過とその評価について、第三者委員会からすでに報告され公開されている。この中で、第三者委員会が事務手続経過に不十分な点があると指摘したことについて、市長はそのすべてを認められるのか伺う。</p> <p>(2) 指摘された不十分な事務手続の実施責任について、具体的にどのように考えているのか伺う。</p> <p>(3) 第三者委員会によって不十分だと評価された点は、補助金適正化法に抵触する部分があるのか伺う。</p>		市長

順位	5	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 指定管理者制度について	<p>(1) 庄原市政として推進してきた「指定管理者制度の活用」について、市長は現段階でどのように評価しているのか。また、評価に関することは平成17年8月策定の「公の施設の指定管理者制度導入・運用について」には明記されていないが、評価する組織を設けているのか伺う。</p>		市長
	<p>(2) 指定管理者による予算執行について、執行状況の管理点検、監視は、庄原市の例規に基づき、どのような手法で実施しているのか伺う。</p>		
4. 自衛隊機の低空飛行について	<p>(1) 本市上空を航空自衛隊のC-1輸送機が低空飛行しているが、このことについて、市はどのように状況を把握しているのか伺う。</p>		市長
	<p>(2) 航空法第49条の規定により、制限表面が規制されていることから、航空機の低空飛行については関係機関（航空自衛隊美保基地等）に抗議し、低空飛行の禁止を求めるべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>		

順位	6	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 放課後児童クラブの指導員確保と身分保障について	(1) 指導員の確保が困難な状態が続いているが、どこに原因があるのか伺う。		市長
	(2) 指導員の募集方法はどのように行っているのか。また、採用基準はどのようになっているのか伺う。		
	(3) 採用後の研修はどのように行っているのか伺う。		
	(4) 指導員の身分保障をすべきではないか。		

順位	6	質問者	吉方 明美	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2. 下水道料金の 公平な徴収に ついて	<p>現在、下水道事業は、上水道敷設地域と集落排水敷設地域での処理との2つの方法があるが、その中でも、集落排水事業における利用料金は、不公平な状態が生じており、次の5点について伺う。</p> <p>(1) 上水道以外の水を利用している家庭の下水道料金は、世帯人数で支払額が算定されるが、人数の確認はいつ、誰がするのか。</p> <p>(2) 世帯人数に変更があったときはどうするのか。</p> <p>(3) 世帯人数で利用料金が設定されているが、金額に幅がありすぎるのではないか。</p> <p>(4) 盆、正月など、利用人数が増える時期がある。これらの期間については届け出ている人数以上の使用量が考えられるが、その超過額は負担しなくてよいのか。一方、公共下水道利用者は1立方メートルごとに料金が細かく決められており、不公平ではないか。</p> <p>(5) 改善策として、メーター器を取り付け、正確な使用量に基づいた料金負担にすべきではないか。このことで利用者も納得できると思うが、考えを伺う。</p>		市長	

順位	6	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 温室効果ガス削減に向けての取り組みについて	<p>本市は、環境基本条例を策定し、ごみの再資源化、あわせて温室効果ガス削減に向けて努力しているが、その成果が目に見えない。次の2点について伺う。</p> <p>(1) 市有林が吸収する二酸化炭素の権利を、二酸化炭素を超過排出して事業を行っている企業に販売し、収入を得ることを考えてはどうか。</p> <hr/> <p>(2) 廃食油を利用したバイオディーゼル燃料を製造し、地域生活バスに利用しており、二酸化炭素削減効果がでている。</p> <p>市有林の二酸化炭素削減効果とあわせて排出量取引制度を利用したらどうか。</p>		市長



順位	7	質問者	谷口 隆明	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 市民生活を守る防波堤に	<p>安倍政権は、消費税の増税、生活保護費の引き下げの強行、政府の社会保障制度改革国民会議の最終報告書に沿った、さらなる社会保障改悪の推進、福島第一原子力発電所の危機的状況の中での原発再稼働、TPP交渉への公式参加、憲法改悪への動き等々、どれ一つとっても、かつてない厳しい市民生活の実態や、安心安全を願う市民意識と相いれない。</p> <p>市民の生活実態を知る市長として、こうした悪政に対して、はっきりと抗議の声を届けるべきと考える。このことについて、明快な見解を求める。</p>		市長	

順位	7	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. バイオマスタウン構想の総括と新しい戦略を	(1) バイオマスタウン構想の到達状況を、どう評価しているのか伺う。		市長
	(2) バイオマス利活用も、地域新エネルギー重点ビジョンといった当初目標から大きく変わっている。木質バイオマス利活用事業は、度重なる事業変更を認め、補助金の不正受給も見抜けなかった。計画主体としての市の責任(善管注意義務違反)を明確にして、事業から完全撤退するのが筋である。あらためてその姿勢について伺う。		
	(3) 先進自治体に習い、本市の有利な地域条件を生かし、再生可能エネルギーの普及戦略と、目標をもった施策に取り組むべきではないか伺う。		
	(4) 東城温泉の熱供給ボイラーを、地元材を活用したチップボイラーとし、エネルギーの地産地消・地域循環の仕組みがつかれないか伺う。		

順位	7	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 庄原市の民営化の到達と課題は	<p>(1) 行政が100%出資した会社に業務を委託する方法は、財政状況が厳しい自治体を中心に広がっていると聞くが、実態はどうか。この手法については、市行政としての現時点での評価を伺う。</p> <hr/> <p>(2) 学校給食調理業務を民間に委託することの当否は全国で議論がある。「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準(1986年厚生労働省)」、「学校給食衛生管理基準(2009年文部科学省)」などに照らして、課題や改善点はないのか伺う。</p>		市長 教育長

順位	8	質問者	松浦 昇
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 障害をもつていても人権が尊重され安心して暮らせる地域づくりについて	<p>平成 22 年 12 月議会において、市内の知的障害者に対する施設（グループホーム）整備等についての質問に対し、自助・互助・公助を原則として支援に努めており、社会に出るまでにどう生きるか、本人・両親・親戚で検討されることが大切で、人生設計を前提に円滑な移行を支援するのが行政の役割と考えている。また、経済的な面、生活の場所、両親が不在になった場合など早い段階から準備していただきたい。そして、新たな取り組みとして、サポートファイルの配布で生涯を通じた援助の視点を持ちつつ、問題を抱える世帯に対して最善、適正な個別支援を行う、と答弁している。以下の 4 点について所見を問う。</p> <p>（1）これまでの、自己責任・家族責任としてきた障害者に対する支援施策の基本スタンスを、社会的責任・公的責任への転換、家族依存からの脱却を図ることが必要と考えるが、認識を伺う。</p> <hr/> <p>（2）知的障害者の療育手帳の所持者が、平成 22 年 11 月末で 375 人とされているが、サポートファイルを活用している人数、具体的な支援の内容と成果について伺う。</p>		市長

順位	8	質問者	松浦 昇
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 障害をもつて いても人権が 尊重され安心 して暮らせる 地域づくりに ついて	<p>(3) 平成 22 年 12 月の一般質問において、グループホームの建設と法人に対する支援策について問われているが、このことに対する現時点での取り組み状況について伺う。</p> <p>-----</p> <p>(4) 18 才以上の知的障害者の実態調査の実施を求める。目的は、市内の障害者の実態を通して課題を明らかにし、施策に生かすためである。</p> <p>調査内容の例としては、年収、生活保護受給の有無、親との同居の有無、将来の生活場所、休日を共に過ごす人数やその場所、婚姻の有無、一般就労か福祉就労かなどである。</p>		市長

順位	8	質問者	松浦 昇
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 辺地のバス路線の確保と生活実態に合った運行ダイヤの見直しで安心して暮らせる地域づくりを	<p>口和町竹地谷地域のバス路線は、中国横断自動車道尾道松江線が利用できるまでは、三次～新市間を1日3往復し、利用者は少数だが、歴史的に大切な路線として運行されてきた。しかし、尾道松江線の完成によって状況は変化し、竹地～大月間は県道運行で1日2往復となり、暫定的に4月から運行されている。</p> <p>また、生活実態に合ったダイヤの見直しへの要求も高まり、8月2日、市長に対し次の事項についてバス会社と協議して実現するよう求めたところである。以下の4点について考えを伺う。</p> <p>(1) 以前と同様に、県道を運行し1日3往復とすること。</p> <p>(2) 最小限度の要望として、口和を午前8時前に出発し、午後5時台に口和に到着できるようにすること。</p> <p>(3) 以前と同様に、高野町に通院し、買い物ができるダイヤに見直すこと。</p> <p>(4) ダイヤが改善されるまで、現在の暫定的な運行を維持すること。</p>		市長

順位	9	質問者	五島 誠
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 保育所の指定 管理について	<p>本年度より新たに庄原保育所と高野保育所が指定管理となり、市立保育所17カ所のうち7カ所が指定管理者による管理運営の保育所となった。これで指定管理の保育所を当面はふやさないと伺ったが、今後の見直しを含めて変更の可能性はあるのか。また、指定管理保育所のメリット、デメリット、課題と解決策について所見を伺う。</p>		市長
2. 子育ての負担 感軽減について	<p>一口に子育ての負担感と言っても様々あるが、その中でも子育てと仕事の両立について伺う。</p> <p>例えば、子どもの授業参観に行くことに物理的・精神的な負担感があるが、これを緩和する行政の支援策はないのだろうか所見を伺う。</p>		市長

順位	9	質問者	五島 誠
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. マイナンバー 制度について	<p>国民一人ひとりに番号を割り振って、所得や納税実績、社会保障に関する個人情報をも一つの番号で管理する共通番号「マイナンバー」制度の関連法が、去る5月24日の参議院本会議で可決され成立した。平成27年秋ごろ、国民全員に番号の記載された「通知カード」を配り、平成28年1月から番号の利用開始とのことだが、それにより本市でもシステム改修や事務処理などに大きな影響があるように思う。現在、その対応策や準備等どのような状況であるか伺う。</p>		市長
4. 庄原いちばん の具体的施策 について	<p>木山市長が就任され5カ月が経過した。「市長が一体何を行われるのか、行おうとしているのか」という事に市民の関心が集まっているように感じる。3つのいちばんづくりに取り組むと表明されているが、具体的に何を行おうとしているのか、既に実施中のものも含めて伺う。</p>		市長



順位	10	質問者	堀井 秀昭
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 木質バイオマス利活用プラント整備事業の方向性について	木質バイオマス利活用プラント整備事業の現在の状況と今後について、改めて伺う。		市長
2. 林業振興について	本市の林業・木材業について、林業振興計画が示されたところである。今後のより具体的な施策について、市長の思いを伺う。		市長

順位	1 1	質問者	政野 太		
項 目		質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答 弁 を 求 め る 者	
1. 庄原市の観光 振興について		(1) 現在、プロポーザル方式により策定中の庄原市観光振興計画について、その計画のベースとなる本市の観光振興施策に関する基本的認識を伺う。		市 長	
		(2) 庄原市観光実態調査業務について、その調査場所、調査時期等に関する考えを伺う。			
		(3) 平成 25 年 8 月 15 日の新聞報道で、本市への観光客数が平成 24 年まで 6 年続けて減少していることについて、「観光客のニーズに合った売り込みが十分できていなかった」とコメントされているが、どのような認識のもとで指摘されたのか伺う。			
		(4) 宣伝媒体として、フェイスブックなどの SNS を利用して観光 PR をする予定はないのか伺う。			

順位	1 1	質問者	政野 太	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2. 庄原市まちづくりプランナー・モニター事業（まちづくりプラモニ）について	<p>(1) まちづくりプラモニ事業について、具体的な例を含めて、改めてその目的を伺う。</p> <p>(2) 何人程度の登録者を想定しているのか。また、その登録促進の手法として、どのようなことを行われるのか伺う。</p> <p>(3) この事業は、組織全体で活用することが必要であるが、その体制が取れているのか伺う。</p> <p>(4) 市民の個人情報を直接取り扱うことになるが、セキュリティーについてどのような対策をしているのか。また、万が一情報漏えい事故が発生した場合の対応は、どのように考えているのか伺う。</p>		市長	

順位	1 2	質問者	宇江田 豊彦		
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
1. 今後の定員適 正化計画につ いて	<p>合併以来、職員の削減は、計画以上に達成されたものの、本市が実施する事務事業は減るどころか増加している。</p> <p>このような実態の中、現状の事務事業を維持しようとするのならば、これ以上の定員削減は到底できないと思うが、今後についてどのように考えているのか伺う。</p>			市長	
2. 市職員の賃金 カットについ て	<p>本年は人事院勧告もなく、消費税の引き上げが来年度に想定される中で、市職員の賃金カットは本市経済にも大きな影響を与えると同時に、職員の生活や労働意欲にも関わる問題であると思う。賃金カットは、あくまでも、2014（平成26）年3月までの考えなのか伺う。</p>			市長	

順位	1 2	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 不登校児童・ 生徒の取組 みについて	<p>児童・生徒を取り巻く状況は、近年、より 厳しい実態となり、児童・生徒の「不登校」 も深刻な状況ではないかと思う。</p> <p>本市小中学校における「不登校」の実態と 対策について伺う。</p> <p>(1) 「不登校」の原因はそれぞれ違うと思 うが、大別すると、どのようにとらえてい るのか伺う。</p> <hr/> <p>(2) 原因の中には、「いじめ」によるもの もあると思うが、その実態について伺う。ま た、その対策についても伺う。</p>		教育長

順位	1 2	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
4. はだしのゲンの閲覧制限について	<p>被爆体験を描いた漫画、故中沢啓治さんの「はだしのゲン」が、昨年12月から松江市内の市立小中学校の図書館において、子どもたちが自由に見ることができない閉架状態に置かれていたことが、新聞等の報道によって明らかとなった。</p> <p>これは、松江市教育委員会が、作品中の暴力描写が過激だとし、市立各校に閲覧の制限を求めたものであったが、この対応について、本市教育委員会として、どのように受け止めているのか伺う。</p> <p>(1) 松江市においては、「ありもしない事実によって、間違った歴史認識を植えつける」とし、市民から陳情等で求められたことがきっかけと伝えられたが、本市でも同様の要請があったのか伺う。</p> <p>(2) 本件について、本市教育委員会として学校長に対して要請、指導、命令などを行っているのかどうか伺う。</p> <p>(3) 「はだしのゲン」は、長年にわたり、学校図書の一つとして置かれていたと思う。今後においても、同様の扱いをされると考えるが、どう考えているのか伺う。</p>		教育長

順位	13	質問者	垣内 秀孝
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 市長の所信表明における行政経営改革の取り組みについて	<p>(1) 市長就任後の所信表明では、「活力のある庄原市」を築くため、地域産業、暮らしの安心、にぎわいと活力を柱とする「庄原いちばんづくり」を約束している。</p> <p>これは、「やっぱり、庄原がいちばんええよのお」と思えるまちづくりを意図しており、実現に向けて努力がなされている。</p> <p>その中で、自治体をめぐる環境等をふまえ、市長の政策の特色を示すための新たな行政経営改革具現化への基本姿勢について伺う。</p> <hr/> <p>(2) 合併時の組織機構、とりわけ内部機関は部制でスタートしていたが、現在は課制となっている。</p> <p>合理的組織、効率的な行政を推進するうえで、市長の今後の組織改革についての考えを伺う。</p> <hr/> <p>(3) 合併後9年を経ているが、支所をめぐる環境は著しく変化している。</p> <p>支所機能、制度の安定・充実についての方向性等、見解を伺う。</p>		市長